

若手交流会 AJCE 夜会

AJCE 技術研修委員会 Young Professional 分科会

日時：平成 22 年 9 月 3 日（金）18:30 ~ 21:00

会場：イタリアンレストラン Gratte Ciel

参加人数：40 名



平成 22 年 9 月 3 日（金）上野のイタリアンレストラン Gratte Ciel にて、AJCE 技術研修委員会 Young Professional (YP) 分科会主催、若手コンサルティングエンジニア (CE) の交流会『AJCE 夜会』を開催しました。参加者は AJCE 会員企業の 20 代～30 代の若手 CE 40 名。参加者の専門は、橋梁・道路・交通・鉄道・電力・上下水道・河川・環境・廃棄物・都市計画・危機管理・PPP/PFI と多岐に渡りました。

若手意識調査

交流会ではアンケート形式による若手 CE の意識調査も実施しました。回答数は 30 人（男性：26 人、女性 4 人、回答者の平均年齢 34.0 歳 各問い複数回答）。

なぜ、CE の職業を選んだかの問いに、「CE の仕事に興味があった 24 人」が圧倒的に多く、「公務員・ゼネコン以外の職業に就きたかった 5 人」、「海外勤務が出来る 3 人」が続きました。CE 業界の改善点については、「残業が多い 17 人」、「一般的な認知度が低い 17 人」が最も多く、次いで「給与が低い 14 人」という結果となりました。

若手技術者の育成に関する問いでは、若手育成に寄与している要因として「上司・先輩の指導 14 人」「業

務経験の中で自然に 12 人」という回答が多く、逆に「社内教育システム」を挙げたのは 4 人と少数でした。

目指す CE に近づいているかの問いに、「着実に近づいている」と回答した 16 人のうち 12 人が、その要因として、上述の 2 つの要因を挙げており、上司・先輩との良好な人間関係と現場でも経験 (OJT) の両方がそろうことが、若手技術者の育成に関係していることを示唆するような結果となりました。

対して、「なかなか近づかない」と回答した 12 人のうち半数が、その要因として「忙しさを勉強する時間がとれない」と回答しており、CE 業界の改善点を裏づけるような結果にもなりました。



参加者からは「日頃、同業他社との交流は少なく、今回の交流会では各社の特徴や互いの専門分野などについて情報交換ができ、非常に有意義だった」との感想が聞かれ、この交流会の趣旨のひとつである「若手技術者間のネットワークづくり」につながる活動となりました。

最後に、この交流会が、今回実施したアンケート調査結果から伺えた「人間関係・信頼関係の構築」と「業務の多忙さによるストレスの解消」の両方に少しでもつながるような場であれば、と思います。

そして、今後も継続的にこのような若手技術者の交流会を開催し、この場で発生したネットワークの輪がより大きく広がっていくことを望みます。